

# 全国被連協 ニュース

No.86号 2019年1月30日発行

発行： 全国クレサラ・生活再建問題  
被害者連絡協議会事務局

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-5-5  
マーキス梅田 301号大阪いちょうの会内  
TEL06-6361-3337 Fax06-6361-6339

## 被連協、全国の被害者の会、前進の年に！ 一緒にがんばりましょう！



1/13 被連協代表者会議にて挨拶する岡田会長

**2019年、一緒に**

**前へ！ 前へ！と進めて行きましょう**

**被連協会長 岡田悟**

昨年は被連協運動を長きにわたって引

被連協事務局次長 榎國雄さん(金沢あすなろの会) 被連協会計監査 峯松健さん(福山つくしの会) 心からご冥福をお祈りいたします。私たち、しっかりとバトンを受け継いで、がんばっていきたくと新たに決意をしているところです。

また、西日本豪雨災害、大阪北部地震、北海道胆振東地震など各地に大きな被害が多発しました。被災されました皆さまに御見舞を申し上げます。

旧年中は各被害者の会におかれましては、相談支援活動、生活再建支援活動、災害支援活動などにご尽力されたことと推察いたします。本当にご苦労様でした。

さて、被連協運動がスタートして38年、現在、被連協は新たな段階にあります。

1月13日に開催された代表者会議で、運動前進のための被連協財政の抜本的強化策をお示しさせていただきました。6月の定期総会へ向けて、ぜひ、全国の被害者の会の皆さまの中で議論を深めていただけたらと考えています。どうか積極的なご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

「全国クレサラ生活再建問題被害者交流集会」、高知開催に際しましては本当にありがとうございました。本年の開催は11月2日・3日、埼玉で開催されます。夜明けの会の仲間を中心に「被害者の会のみんが参加して良かったという交流会」めざして準備が進んでいます。どうか、全国の皆さまの大きなご支援をお願い申し上げます。

2019年、一緒にがんばりましょう。

## クレサラ対協新年総会(1/12)が開催されました

■1月12日、大阪市内で「クレサラ対協新年総会」が開かれました。

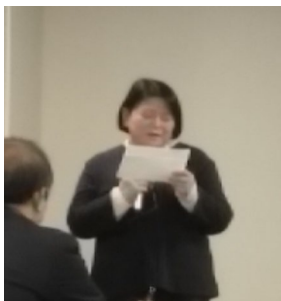
■総会では、活動報告・新年度活動計画、決算・新年度予算の承認、新役員選出の他に、「クレサラ対協の今後の組織論について～参与連帯（韓国）に学ぶ～」と題して柴田武男聖学院大学講師の講演、「クレサラ対協40周年記念誌」の準備状況の報告、昨年の高知での全国交流会の報告、今年の11月3日・4日に埼玉で開催される「第39回全国交流集会」の準備状況報告、今年の6月15日（大阪）に行われる「実務研究会」についての報告、11月9日、秋田市で行われる、日本・台湾・韓国の「第10回東アジア金融被害者交流集会」の報告、被連協の報告、カジノ賭博場設置反対連絡会からの報告、非正規労働者の権利実現全国会議からの報告、生活保護問題対策全国会議からの報告、最後に、呉つくしの会の中村さんから昨年7月の広島の高雨災害について現地からの報告がありました。

■翌1/13は、被連協の代表者会議が行われました。

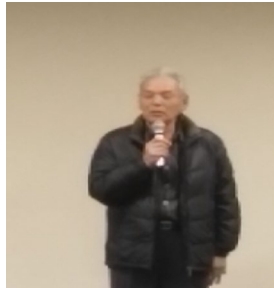


木村代表幹事は、挨拶で、「奨学金貸付に保証人を取らない事が報道された。奨学金問題対策全国会議が頑張って、世論喚起を行って来た成果だ」と述べた後、「クレサラ対協」が変身脱皮するために、韓国の「参与連帯」の活動について、柴田氏の報告を受けながら考えて行こうと挨拶されました。

また、本年、11月9日の韓国・台湾・日本の「東アジア金融被害者交流集会」が秋田（秋田国際教養大学）で開催され、「生活保護問題対策全国会議」も参加し10周年の記念集会として開催されることが報告されました。多くの被害者の会の参加をよろしくお願いします。



峯松健さんについて報告する  
引き継いでがんばる  
**福山つくしの会**  
浜石由美子さん



西日本豪雨災害、自らも被害を受けながら自治会長としても復旧活動に大車輪  
**呉つくしの会中村正美さん**

**東アジア金融被害者交流集会**  
**今回は私たちがホスト国&10周年**  
**カンパよろしく!**

振込先はこちらです。  
三菱UFJ銀行豊中支店  
普通)NO 3071984  
名義)国際交流部会 会計口  
司法書士 来山尚子

## 「クレサラ対協の今後の組織論について～

### 参与連帯に学ぶ～」

新年総会では記念講演として 聖学院大学講師・社会活動家の柴田武男氏が標記のテーマで「クレサラ対協をそのまま消滅させるのはもったいない」、「これから10年を見通すような方針が、議論できるような場にしたい」として問題提起されました。



柴田氏は、韓国の「参与連帯」について、「(日本の)クレサラ対協と似た面があって、参与連帯は、

- ① 1万7千人の会員がいて、毎月千円～2千円の会費を払って組織と専従スタッフを支えていること。会費収入だけで、月に1500万円～2000万円以上の資金を確保し、
- ② 12のセンター（または委員会）【1. 司法監視センター、2. 議政監視センター、3. 行政監視センター、4. 公益通報支援センター、…7. 民生希望本部、9. 租税財政改革センター、…15. 青年参与連帯】に分かれて活動している。
- ② 参与連帯が注目されたのは、1998年腐敗した政治家104名をリストに挙げ、第一段階は、政党に公認しないよう要請し、第二段階は、落選させる運動を行った。2004年の総選挙では、102名の落選対象政治家を発表し、67名を落選させた。」と紹介しました。

クレサラ対協にも、関連団体として生活保護問題対策全国会議、奨学金問題対策全国会議、滞納処分対策全国会議、非正規労働者の権利実現全国会議、全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会等関連団体を幾つも持って、運動をしています。かなり参与連帯と重なっています。

柴田氏は「昨年11月に訪問した参与連帯の5階建てのビルの窓に「世の中を変える市民の力 参与連帯」とありました。私たちも、社会を変える力として成長・進化すべきなのです。」と結ばれました。

柴田氏の問題提起を受けて、

対協事務局員で司法書士の新川真一氏は柴田氏との連携の上で、具体的な問題提起をおこないました。柱を紹介しますと①、専従事務局の確保を重点課題に ②、事務所の確保を ③、新たな会員の拡大を、弁護士・司法書士中心の運動から学者をはじめ幅広い各層の人々を対象に ④、財政の拡充を ⑤、専従事務局と非専従事務局を配置しパワーアップを ⑥、会報（機関紙）の発行を というものでした。

上記は、あくまでも問題提起です。しかし、過去、現在、未来をとらえる中では、被連協としても積極的に議論に参加し、被連協の組織変革についてもあわせて全国のみなさんと考えていきたいと考えます。



スマホにあふれるネット広告

家族に内緒で借りられる

銀行カードローン

## 被連協代表者会議(1/13)

各会と被連協財政の厳しい状況から、ゆうちょ銀行を利用して、被連協団体会費をこれまでの1年まとめた納入から毎月「自動振替」を行って、負担感を軽減し、安定した財政を作り上げていく事を事務局から提起させていただきました（毎月型か、一括型かの選択有り）。また、規約にある個人会員を重視し、月額振替納入方式で、全国で100名～300名の方々に協力依頼をして募っていくことを提案し、多くのご意見、質問を頂戴いたしました。6月の定期総会めざして諸準備をすすめ、全国でご議論をいただくこととなりました。よろしくお願いいたします。（詳細な提起、及び議論結果については後頁の代表者会議報告をご覧ください。）

また、銀行のカードローン問題では、署名が3千3百余筆集まっていること、1万～2万筆をめざす事が呼びかけられました。署名用紙を再度、添付させていただきますので、全国のみなさん、よろしくお願いいたします。

被連協会計監査峯松健氏の死去に伴う補充についてはみやぎ青葉の会会長の佐藤靖祥弁護士に担っていただくこととなりました。よろしくお願いいたします。

## 全国はひとつ～各会からの報告

### <尼崎あすひらく会>

会長の携帯に電話が転送されるようにして、相談を継続している。相談者は確かに減っている。会をなくすのは簡単だ、しかし、立ち上げるのは大変だ。絶対に継続したい。最近はずいぶん相談という感じだ。

県多重債務者対策協議会の相談会で「生活再建」の支援を担当している。2ヶ月に一回「落語会」（楽しく語る）を開催して交流している。もちつき大会も年末にはおこなった。相談者は確かに減っている。会をなくすのは簡単だ、しかし、立ち上げるのは大変だ。

### <京都平安の会>

昨年7月、代表者が交代しました。事務所は閉鎖し、会場を借りて定例相談と交流を行っている。ギャンブルでの借金、商売の失敗、本人以外の借金問題の相談が目立つ。高知交流集会には3名参加した。近畿の各会とも交流をおこなっている。

### <高松あすなろの会>

専従2人で会を支えている。毎月の会費はゆうちょ振替でやっている。事務所費軽減のため他団体とルームシェアをやる予定。昨年は100名の相談で44名が入会した。多重債務、生活保護、個人間トラブルの相談が多い。犯罪を犯した方の「生活再建」支援の活動を医療分野とのかかわりと共に模索している。医療機関が少なく悩んでいる。

### <福山つくしの会>

昨年は156名(世帯)の相談がありました。生活よろず相談が多い。その内、生活保護の相談が50件。また家族間、近隣トラブルなどが多い。ヤミ金の相談では、通帳を提供しての「口座凍結」の相談が特徴的です。同じ建物に法律事務所、生健会があるので日常的に心強い。峯松さんの意思を継いでしっかりとがんばっていきたい。

### <和歌山あざみの会>

和歌山市駅のそばに事務所が移って、看板を見ての駆け込みも含めて相談が多い。相談は1800件/年。訪問(面談)が500件。生活保護の相談が多く、田中事務局長は役所でも有名だ。クレジット・サラ金問題は少ない。時効債権の請求問題が目立ちます。精神疾患をかかえている方の相談が多い。

### <高知うろこの会>

自殺防止対策の補助金を活用して、自殺防止看板を足摺岬・叶崎に設置している。消防団にお願いして、巡回をしてもらっている。なんとか、看板活動を維持していきたい。

生活保護、ギャンブル(依存症)、窃盗症問題の相談が特徴的です。県内4カ所に出向いての出張相談会を行っている。

以下は後刻、1/24の報告です。追加で報告します。(高知うろこの会報告)

2016年1月・及び3月に窃盗罪(万引き)で逮捕され、その後起訴・裁判を闘っていた女性(33歳)の判決がありました。彼女はクレプトマニアとして治療を続け、自助グループでの回復に努めており、彼女の弁護士(林大悟氏)は、彼女の犯行はクレプトマニアによる、衝動制御障害や摂食障害、そして閉症スペクトラム障害などの影響によるもので治療以外回復しないことなどを理由に、無罪を主張(検察求刑は懲役4年)していた事案です。今回の判決で、懲役1年2月に減刑されたとはいえ、彼女は同じクレプトマニアで悩みながら裁判を闘っている人たちの為にも、控訴して無罪を勝ち取るまで闘うと言っていました。

### <呉つくしの会・中村正美さん>



昨年7/6・7の豪雨災害で被災し、全国からの支援に感謝。安浦地区の自治会長として復旧活動に懸命。そんな状況の中で呉つくしの会をどう維持していけるのか苦慮している。あきらめずにやっていきたい。

### <みやぎ青葉の会>

月水金、1時～4時、第3土曜日は、午後5時～8時、電話相談と面談を行っている。災害時の融資（無利息）の返済が始まった（6年据え置きで7年間で返済）。返済が困難な方の相談が増えてきました。多額の返済を7年間で返すのはどうみても無理がある。制度の改革を訴えたい。生活保護の相談が増え、食糧支援では、生協として行っています。奨学金相談の窓口にも成っている。県の自殺対策の補助金を活用している。

### <大阪いちょうの会>

ヤミ金等による口座凍結の相談が全国からの相談も含めて多い。「被害者を加害者にするな」と訴えている。人権問題であり、大きな運動にしたい。ギャンブル依存による借金相談が目立つ。当事者、家族との連携をもっと大きくしていかなばと考える。ギャンブル依存に対する「貧困ビジネス」の進出が大阪では目立つ。ギャンブル依存を発生させるカジノの大阪誘致をなんとか阻止したい。

### <消費者支援群馬ひまわりの会>

昨年2月に全国17番目の適格消費者団体となつた。1982年にサラ金被害者の会。桐生ひまわりの会として発足し、2008年にNPO団体となっていた。活動範囲は広がったが財政的には重たい。当事者会員70名、法律専門家40名で構成している。障がい年金問題、とりわけ全国でもっとも突出している滞納処分問題などに精力的に取り組んでいる。とりわけ、銀行の融資金利の表示等には問題意識をもっている。全国のみなさんの情報提供をお願いしたい。

## 被連協会費納入のお願い

3月末が年度末です。団体会費は年36000円、個人会費は年6000円です。

同封のゆうちょ振替用紙で、あるいは下記口座へよろしくお願いします。

みずほ銀行/銀座通支店 普) 1040634 全国クレサラ生活再建問題被害者連絡協議会  
納入の困難な会は減免措置OKです。被連協会計 和歌山あざみの会 田中千鶴子さん  
TEL073-424-6300 までご連絡下さい。